

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	超高精細 CT を用いた喉頭疾患の診断に関する研究
当院の研究責任者 (所属)	喜瀬乗基 (琉球大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科)
他の研究機関および 各機関の研究代表者	なし
本研究の目的	従来の CT では評価が難しかった、のどの病気の診断に超高精細 CT が有用であるか否かを判断すること
研究実施期間	病院長の許可後から 2025 年 12 月 31 日まで
調査データ(該当期間)	2019 年 4 月～2025 年 3 月の期間の情報
研究の概要や方法 (利用する試料・情報等)	<p>超高精細 CT は 2017 年 4 月より販売された新しい撮影装置です。特徴としては従来の CT と比較し、細かい構造をより明瞭に写すことが可能になりました。琉球大学病院でも 2017 年からこの超高精細 CT の導入を開始しており、耳鼻咽喉科を受診された方に対しても既に本機での撮影を行っております。</p> <p>声帯は人体の構造の中でも細かい部分になるため、この超高精細 CT が有用であると考えられます。</p> <p>この研究は、従来の CT では評価が難しかった、のどの病気の診断に超高精細 CT が有用であるか否かを判断する目的で行います。</p> <p>対象となる患者様は、当該研究期間に声のかすれや、のどの違和感で琉球大学病院耳鼻咽喉科を受診され、その精査の為に超高精細 CT 検査を行った方です。この際の超高精細 CT 画像を専用の画像解析ソフトを用いて解析し、病気に特徴的な所見がないかを検討する予定です。</p> <p>利用する情報としては、①患者基本情報：年齢、性別、②臨床情報：病歴、既往歴、合併症、診断名、身長、体重、③検査結果：喉頭内視鏡検査、喉頭ストロボスコーピー検査、音声機能検査、空気力学的検査、音響分析検査、呼吸機能検査、④画像所見：超高精細 CT、⑤手術所見：手術を行った症例の手術記録、を利用させていただきます。</p> <p>症状の原因を詳しく調べるために行った CT 検査の画像を用いた研究であり、患者様へ負担を伴うものではありませんのでご安心下さい。</p>

<p>試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法</p>	<p>なし</p>
<p>試料・情報の二次利用</p>	<p>本研究で収集した情報は将来別の医学研究に二次利用することがあります。その場合には、再度当院の倫理委員会で承認された後に実施します。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>研究番号と対応する診療録 ID との対応表を作成し、直接どの研究対象者の情報であるかが判別できないよう匿名化します。対応表の管理にあたっては、ネットワークから切り離された耳鼻科教室のコンピュータに保存、ファイルにはパスワードを設定し、情報管理者が管理します。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究は琉球大学利益相反審議部会の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得て行います。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>電話：098-895-1183 担当者：喜瀬乗基（琉球大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科）</p>
<p>備考</p>	